

暑い日が続きます。梅雨が明けたと思ったら台風でも大きな被害。この頃集中豪雨が多いですね。雨の恵は作物にはありがたい事ですが、一気に降り注ぐと人間の生活にまで影響を及ぼす上に作物も溺れてしまって育ちません。何事にも適度にいい塩梅に降ってくれないものでしょうか。。

■長瀬地区



道沿いに千日紅がさいていました。太陽に負けじと真っ赤な色がよく生えています。花言葉は「変わらぬ愛」。この豊かな風景と自然はずっと変わらないで欲しいと思います。

まくわ瓜を頂きました。メロンほどの甘ったるさも無くておやつに丁パクパクと丁度いい瓜です。

■大野地区



大野屋さんには大きなスイカが並ぶようになってきたようです。大家族だとあっという間に食べられるスイカも、最近の一般家庭だとこんなに大きいのは何日間かかかりそうですね。

冷たい川の水で冷やして食べたい、そんなスイカの姿です。



大野振興会前に新しい観光スポットが出来ましたと写真が送られてきました。

これは顔を出して写真をとるものなのでしょうか？

是非地元の方の顔で撮っていただきたいかったですね。

■西河内地区



ふるさと野菜の生産者さんの中で最高齢のおばあちゃん。92歳です。

お家を訪ねてみました。ちょっと話を聞いたらいいなと言う程度だったのですが、とても元気元気！

今育てている畑をみせてもらったり、納屋の中を案内してくださったり。

そんな中で発見した粽（ちまき）のような形のもの、これは昔からの道具？なんと蚊取り線香です。

木綿の生地でないといけならしく、化繊のものだと効果がないらしいのです。



■高岡地区



今年も2回ツバメのヒナがかえったそうです。

玄関前なので掃除が大変そうですが、やっぱり可愛いツバメの子が巣立ちする姿は微笑ましいですね。

最近の都会ではツバメの巣さえも汚れるからと嫌がられていますが、大らかに見守っている家が田舎にはまだまだ多い事にもホッとさせられます。

畑にはトウモロコシやキャベツ、珍しいところではブドウなどが植えられているのが見られました。黒豆も植えられてきているようです。

広い広い田畑にお米以外にも沢山植えられているのを見ていると次々にどんなお野菜が出来てくるのが楽しみです。

■南丹市殿田・木住・生畑・中世木地区



日吉ダムの北側の中世木上谷からつづれ織りの道を歩くと集落が忽然と現れます。集落は南北に連なっており、東西の山すそにへばりつくようにくづやの古民家が建ち、中心の平坦の所は棚田が広がっているのです。そこは典型的な里山風景とされています。

しかしどこでもそうですが、里山も今ではすっかり年寄り達だけの村になってしまい、その風景もだんだん崩れて無くなってきているところが多いようです。

里山を取り戻そうという動きもありますが、なかなか大変なようですね。

ご参加・ご意見・お問い合わせは下記まで ふるさと野菜のおすそ分け事務局

〒621-0242 京都府亀岡宮前町神前上長野2 (有)篠ファーム内 **購入参加者 8月7日現在 99名**

TEL0771-26-0811 FAX0771-26-0822 e-mail info@shinofarm.jp

ふるさと野菜のおすそ分け通信は右記のホームページでもご覧いただけます。 <http://www.shinofarm.jp/furusato.htm>